

B 景観形成基準措置状況説明書

歴史あるおもむき外濠地区	工作物の建設等
届出対象規模	
・擁壁	高さ > 2 m
<ul style="list-style-type: none"> ・煙突、鉄柱、装飾塔、記念塔、物見塔その他これらに類するもの ・昇降機、ウォーターシュート、コースターその他これらに類するもの (回転運動をする遊戯施設を含む) ・製造施設、貯蔵施設、遊戯施設、自動車車庫(建築物であるものを除く) その他これらに類するもの 	高さ > 10 m
景 観 形 成 基 準	
形態・意匠	
<p>○色彩や素材は、日本の伝統色を用いる、低彩度とするなど落ち着いたものとし、外濠周辺の歴史あるおもむきや水とみどりに調和するものとする。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
<p>○形態意匠は、周辺の主要な眺望点(道路、河川、公園など)からの見え方に配慮するとともに、外濠と周辺建築物等が一体となった歴史あるおもむきを感じる景観の創出に配慮する。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
その他	
<p>○屋上に配置する場合、形態意匠、配置は、建築物と一体的に見えるようにするなど、周囲からの見え方に配慮する。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
<p>○長大な壁面の工作物は避けるなど、圧迫感の軽減を図る。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	
<p>○敷地内はできる限り緑化を行い、外濠のみどりとの連続性に配慮する。</p>	
<p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p>	
<p>記入欄</p>	

<p>○既存樹木は、保全する。もしくは、同等の樹木による緑化を行う。</p> <p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p> <p>記入欄</p>
<p>○擁壁は、分節化を図る、壁面緑化を行う、自然素材を用いるなど、圧迫感を与えないようにするとともに、外濠の歴史あるおもむきと調和するものとする。</p> <p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。</p> <p>記入欄</p>
<p>工作物の高さ > 20m 又は 築造面積 > 3,000㎡ の場合は以下の景観形成基準を加える。</p>
<p style="text-align: center;">その他</p>
<p>○外濠周辺の道路、坂道、空地、寺社境内地等からの外濠への眺めへの影響をシミュレーションし、形態意匠、色彩、配置は、外濠への眺めに配慮する。</p> <p>具体的な説明</p>
<p>○外濠内の主要な眺望点(公園、橋、遊歩道等)からの見え方をシミュレーションし、形態意匠、色彩、配置は、外濠からの見え方に配慮する。</p> <p>具体的な説明</p>
<p>○鉄道の車窓からのシークエンス景観に配慮し、外濠でしか得られない、みどりで包まれた眺め、歴史と風格を感じる眺め、開放感のある眺めなどの保全と創出を図る。</p> <p>上記の景観形成基準に対して措置する事項について、該当する項目にチェックをし、具体的な説明を記入して下さい。</p> <p>具体的な説明</p>

工作物の高さ>60m 又は 築造面積>30,000㎡ の場合は以下の景観形成基準を加える。

形態・意匠

○色彩は、別表3の色彩基準に適合するとともに、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。(ただし、コースターなどの遊戯施設で、壁面と認識できる部分をもたない工作物を除く。)

上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。

記入欄

その他

○外濠、周囲の公園や道路、河川などから見たときに、圧迫感を感じさせないように、隣棟間隔を確保し、長大な壁面の工作物は避ける。

上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。

記入欄

○斜面地への設置を避ける。

上記の景観形成基準に対して措置する事項について、具体的な説明を記入して下さい。

記入欄